



# 東長崎

—ひがながプライド—

HIGASHI NAGASAKI PRIDE

# PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校  
学校だより 第09号  
令和6年8月27日発行

## 平和集会

79年前の8月9日11時2分一発の原子爆弾が長崎の街へ投下されました。今年も本校では8月9日、平和集会を開き、亡くなった方への冥福を祈るとともに、戦争のもつ非道性及び原爆の悲惨さについて考えました。

そこでは、各学年、フールドワークや調べ学習、対話型授業で行ったことを発表し、被爆の痛みを体験した長崎の町で育つ中学生として、平和の大切さを改めて学びました。そして未来へとつなげていくための東長崎中学校平和宣言を行いました。下記に示します。

### 令和6年度 東長崎中学校平和宣言

79年前の今日、8月9日11時2分、この長崎の街は、見渡す限りの焼け野原となりました。たった一発の原子爆弾により、一瞬にして建物も、草木もなくなり、7万4千人もの尊い命が奪われました。私たちは、このことを忘れてはいけません。

皆さんは、原爆に対してどのような価値観を持っていますか。原爆が投下されてから79年が経過し、世界では原爆の悲惨さについて知らない人も多くなってきていると思います。私たちもそのことについて正しく理解しているとは言いきれません。また、日本、特に広島や長崎では平和学習を通して、原爆の悲惨さやもたらす影響を学んできましたが、海外ではどうでしょうか。原爆に対する認識や価値観の違いがあるのではないのでしょうか。

今年の5月、被爆体験講話をしていただきました。当時の様子を語る講師の先生の声色、表情、動き、その全てから、小学一年生という若さで多くのものを奪われた先生の絶望が伝わってきました。このように、私たちが直接お話を聞いたことには、大きな意味があると思います。ヒバクシャの高齢化が進む中、いつの日かその声が届かなくなる時が訪れます。先生から受け取った「平和のバトン」を受け継ぎ、次の世代に伝えること、それが、私たち世代の責任であり、使命なのではないのでしょうか。

#### — 全校「平和アンケート」より —

6月に平和に関するアンケートを行いました。その中で、「被爆体験の継承について、どのように考えていますか」という質問に対して、「映像や資料を残すことで継承すべきだ」と答えていた人が過半数を超えていました。映像や資料等を使い、次世代により正確に、わかりやすく被爆の実相を伝えていくのが良いのではないのでしょうか。

「今、世界は平和だと思いますか」という質問に対しては、最も多かったのは「2」で41.8%、続いて「3」34.6%、次に多いのが「1」で16.3%でした。理由としては、「ロシアとウクライナの戦争があっている」などの回答をしていた人が多く、今の世界の現状に危機感を抱いている人が多いということがわかりました。今、私たちにできることは、平和についてしっかりと学び、考え、行動することです。この東長崎中学校から平和を発信し、次の世代に伝えていくために、たとえ小さくても、確かな一歩を踏み出しましょう。

—「誰一人取り残さない」—

これは、私たち東長崎中学校の生徒が、一丸となって取り組んでいる「SDGs」、その根底にある考え方です。誰もが安心してこの世界で暮らし続けることができるように、国連が目標を定め、その目標に向かって世界は大きく動き出しています。そして私たちにも、具体的に行動することが求められているのです。

あなたの周りに、助けを必要としている人はいませんか。何か言いたくても言えず、一人で悩んでいる人はいませんか。改めて周りを見渡し、誰一人取り残されることなく、自分らしく輝ける場所を、私たちの手でつくりましょう。

そこで、東長崎中学校から平和な世界をつくるための第一歩として、次の3つを宣言します。

知ろう	相手の心の中にある想いを
行動しよう	小さな思いやりが大きな平和につながることを信じて
つくろう	誰もが安心して笑顔で過ごせる東長崎中学校を

このことを胸に東長生全員が自分にできることを考え、行動し、平和な世界の実現に全力を尽くすことを誓います。

令和6年8月9日 長崎市立東長崎中学校 平和推進委員

お知らせ

令和6年度 長崎県中学校総合体育大会 クラブ

地域スポーツクラブとして長崎県中学校総合体育大会に参加し、優秀な成績を収めた生徒の紹介をします。

ソフトボール TEME 長崎	優勝	九州大会出場	
新体操 高城台 RG	準優勝	九州大会出場	九州大会 7位
バドミントン女子ダブルス リトルブルー	準優勝	九州大会出場	九州大会 ベスト8